



Corporate Social Responsibility Report

CSR報告書 2017



トナミホールディングス株式会社

C o n t e n t s

経営理念

会社概要

トップメッセージ

第20次中期経営3ヵ年計画・事業報告

1

2

3

4

事業概要

5

社会とのつながり

地域社会とのコミュニケーション

13

環境とのつながり

環境マネジメント

地球温暖化防止・大気汚染防止

廃棄物削減への取り組み

19

21

24

社員とのつながり

人材育成と働きやすい
職場づくりを目指して

安全な社会づくりを目指して

25

27

企業統治

コーポレートガバナンス体制

法および社会倫理の遵守

31

33

トナミホールディングスグループ 経営理念

「和」の経営理念を実践し、
経営基本方針に基づいて
「企業の社会的責任(CSR)」
をはたしていきます。

トナミホールディングスグループは、お客様に「安全・
確実・迅速なサービス」を提供することを通して事業
の発展をはかり、株主の皆様へ「適正で安定した
配当」を継続することを経営の基本方針として
います。
この方針に基づいて、収益性を確保し、常に企業価
値の向上に努め、その成果を株主の皆様、お客様、
取引先、社員、社会と適正に分かち合うことが、
トナミホールディングスグループの使命であると
考えています。

編集方針

- この報告書は、2016年度を中心としてトナミホールディ
ングスグループが行ったCSR活動を紹介しています。
- 構成にあたっては環境省「環境報告ガイドライン2012」、
ISO26000（社会的責任に関する手引）を参考にしてい
ます。

対象期間

2016年4月1日～2017年3月31日（一部対象期間外の活動
も含まれます。）

対象範囲

トナミホールディングスグループ全ての事業会社の活動
実績を対象としています。

会社概要（2018年2月28日現在）

商 号 トナミホールディングス株式会社
設 立 1943年6月1日
資 本 金 14,182百万円
本 社 〒933-8788 富山県高岡市昭和町3丁目2番12号

純粋持株会社

■ トナミホールディングス株式会社	富山県高岡市昭和町3-2-12	http://www.tonamiholdings.co.jp/
-------------------	-----------------	---

物流事業会社

■ トナミ運輸株式会社	富山県高岡市昭和町3-2-12	http://www.tonami.co.jp/
■ トナミ運輸信越株式会社	新潟県新潟市西区北場1087-1	http://www.tonami-shinetsu.co.jp/
■ トナミ運輸中国株式会社	広島県広島市西区草津港3-2-1	http://www.tonami-chugoku.co.jp/
■ 京神倉庫株式会社	京都府京都市下京区和気町21-1	http://www.keishin-soko.co.jp/
■ トナミ国際物流株式会社	神奈川県横浜市中区山下町23 日土地山下町ビル7階	http://www.tglc.co.jp/
■ 北関東トナミ運輸株式会社	埼玉県熊谷市新堀1054-4	http://www.k-tnm.co.jp/wp/
■ 関東トナミ運輸株式会社	東京都中央区日本橋横山町4-5 福田ビル5階	http://www.kanto-tonami.co.jp/
■ トナミ首都圏物流株式会社	神奈川県海老名市本郷1675	http://www.tonami-shutoken.co.jp/
■ 新潟トナミ運輸株式会社	新潟県新潟市西区北場1087-1	http://www.niigata-tonami.co.jp/
■ 北陸トナミ運輸株式会社	富山県高岡市上四屋4-42	http://www.hokuriku-tonami.co.jp/
■ 石川トナミ運輸株式会社	石川県白山市平松町158-1	http://ishikawa-tonami.co.jp/
■ 福井トナミ運輸株式会社	福井県敦賀市羽織町113-3	
■ 阿南自動車株式会社	長野県諏訪市中洲5502-18	http://www.anan-tp.co.jp/
■ 株式会社テイクワン	埼玉県川口市新堀988	http://www.teikuwan.co.jp/
■ トナミ第一倉庫物流株式会社	愛知県名古屋市中区砂美町128	http://www.tdwl.co.jp/
■ トナミ近畿物流株式会社	大阪府松原市天美北4-1-8	http://www.tkb1073.co.jp/
■ 中央冷蔵株式会社	広島県広島市西区草津港1-7-7	http://www.churei.com/
■ 初鶴冷蔵株式会社	広島県広島市西区草津港1-7-4	

関連事業会社

■ トナミビジネスサービス株式会社	東京都中央区日本橋堀留町2-8-4 日本橋コアビル7階	
■ 東洋ゴム北陸販売株式会社	富山県富山市呉羽町7271-1	http://www.toyo-hokuriku.co.jp/
■ トナミ商事株式会社	富山県高岡市昭和町1-2-10	http://www.tonami-shoji.co.jp/
■ KSR株式会社	京都府京都市下京区中堂寺壬生川町20-2	http://www.ksr-jp.com/

海外現地法人

■ 托納美物流（大連）有限公司	中国遼寧省大連市保稅区南港路18-2号B棟701	http://www.tonami.cn/MstIndexICN!initCN
■ TONAMI (THAILAND) CO.,Ltd.	7th floor J.B.Building, No.32 Viphavadi Rangsit Road, Jompol, Chatuchak, Bangkok 10900, Thailand	http://www.thaitonami.com/ja/
■ MAHAPORN TRANSPORT Co.,Ltd.	205/10 Moo 3 Laemchabang Industrial Estate, Tungsukla, Sriracha, Chonburi 20230, Thailand	http://www.thaitonami.com/ja/mahaporn.html
■ H&R Forwarding Co.,Ltd.	7th floor J.B.Building, No.32 Viphavadi Rangsit Road, Jompol, Chatuchak, Bangkok 10900, Thailand	http://www.thaitonami.com/ja/har.html

関連会社及び関係先

■ 北海道トナミ運輸株式会社	北海道札幌市白石区川北2246-1	http://h-tonami.jp/
■ ジャパン・トランス・ライン株式会社	東京都江東区東雲1-7-30（第一貨物(株)東京支店内）	
■ 株式会社ジェスコ	富山県富山市婦中町広田3978	http://www.jessco.co.jp/
■ 高岡ケーブルネットワーク株式会社	富山県高岡市昭和町1-2-10	http://www.tcnet.ne.jp/
■ 高岡通運株式会社	富山県高岡市能町1935	http://ch-sense.com/takatuu/
■ アルハイテック株式会社	富山県高岡市オフィスパーク1	http://alhytec.co.jp/
■ 東砺運輸株式会社	愛知県名古屋市中区西浮野町75	http://touto-unyu.co.jp/touto0.html



トップメッセージ >>>

トナミホールディングスグループは、
安全・安心な物流サービスを提供する
ライフラインとしての
役割・機能を果たすことにより、
みなさまの生活を支援し
社会に貢献してまいります。

トナミホールディングス株式会社
代表取締役社長

綿貫 勝介

事業戦略とCSR経営

物流業界においては、ドライバーをはじめとする人材不足の深刻化、時間外労働時間の削減や職場環境の改善など、働き方改革への取り組みが一層顕著となっていると見られます。

少子高齢化の進展等に伴う労働力人口減少の時代も見据え、人材スキルの多様化の進展や労働生産性の向上は、IoT※1・AI※2などの革新的技術の有効活用とあわせて、産業界全体における喫緊の経営課題と認識しております。

当社グループとしても、「事業戦略とCSR経営」の一体的な取り組みを進めてまいりました「第20次中期経営3ヵ年計画」の最終年度も今年3月で終了しますが、今後とも、労働力確保や時間短縮への対処など、グループ一丸となった取り組みにつとめ、地域の人々の経済活動や生活環境をサポートし社会に貢献してまいります。

次期中期経営3ヵ年計画では、国内外の物流の役割機能も激変する中で、安定した事業基盤を構築するべく、収益体制の強化、拠点投資の増進、人材の採用・育成などをはじめとする経営課題の進展により、持続的な成長をめざしてまいります。

その実現のためにも、企業理念・企業ビジョンに掲げた基本精神は遵守しつつも、当社グループの環境活動も

事業活動と一体となって取り組むことが、継続的な活動を促し、社会から必要とされる企業として持続的な成長につながると考えています。

コーポレートガバナンスの強化

安全・安心・安定した物流サービスの提供を基本とする物流企業として、働きやすい職場環境の整備やITを最大限に活用した提案力の強化に取り組み、物流サービスの一層の安定供給を推進、ライフラインとしての役割・機能の向上により、社会の期待に答えてまいります。

トナミグループ社員行動規範に則り、「事業活動のあらゆる局面において、コンプライアンスの徹底」を行動原則として、物流事業における一層の事業価値創造とCSRを果たす経営に邁進してまいります。

「輸送の安全を確保すること」、「地球環境に配慮すること」、「法令やルールを守ること」、「人権を尊重すること」、「地域社会に貢献すること」は、物流企業として必須事項でもあり、コーポレートガバナンスのさらなる強化により、「コンプライアンス経営」を推進して、社会的価値を創造していきます。

当社グループの活動を多少なりともご理解をいただき、今後ともみなさまには忌憚のないご指導・ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

※1 [IoT] あらゆる物がインターネットを通じてつながることによって実現する新たなサービス、ビジネスモデル、またはそれを可能とする要素技術の総称。
※2 [AI] 人工知能

第20次中期経営 3ヵ年計画 (2015～2017年度)

スローガン “Leading step up 2017” さらに高品質経営をめざして!!

「グループの構造改革を礎とした業容拡大を実践していく3ヵ年」と位置付け、物流パートナーとしてお客様とともに成長を維持していくためにも、グループ全体の「質・総合力」を高め、さらなる「高品質経営による新グループ体制の確立」をめざす。

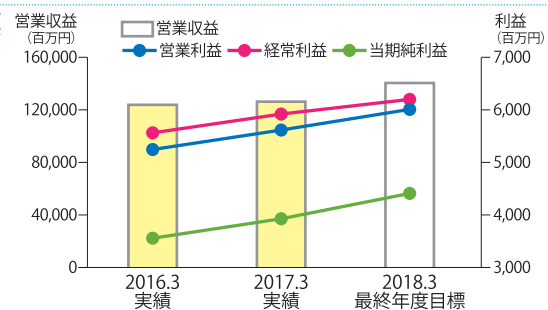
高品質経営



基本方針

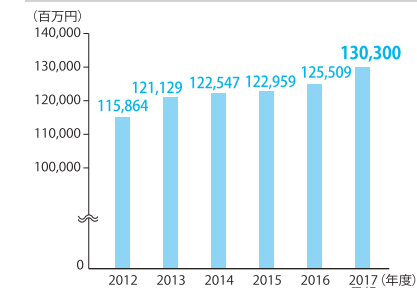
- (1) 特積み部門の一層の収益力強化をはかる。
- (2) 重点事業基盤の強化をはかる。
- (3) 新たな事業戦略の推進により成長をはかる。
- (4) 人材育成・採用強化をはかる。
- (5) 最上級の物流品質をめざす。
- (6) コンプライアンス体制の強化による高品質経営をめざす。

業績目標

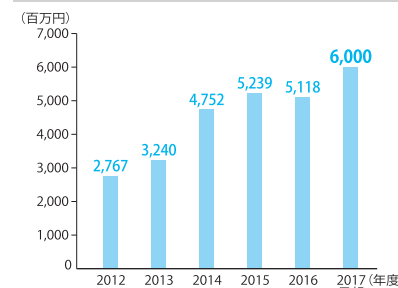


事業報告

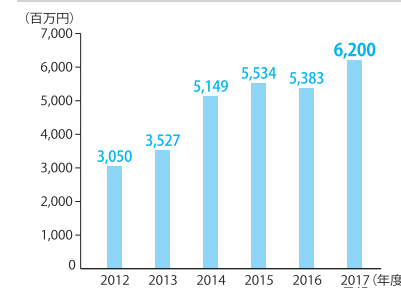
連結営業収益



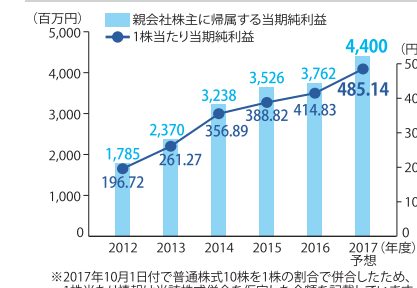
連結営業利益



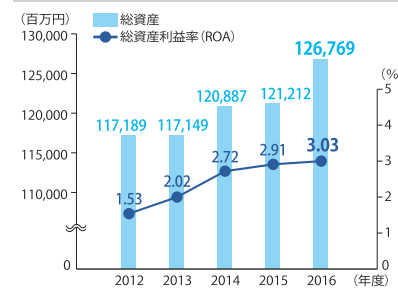
連結経常利益



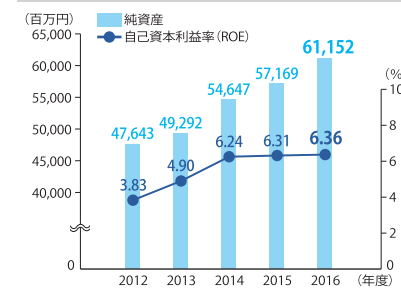
親会社株主に帰属する当期純利益



総資産/総資産利益率 (ROA)



純資産/自己資本利益率 (ROE)

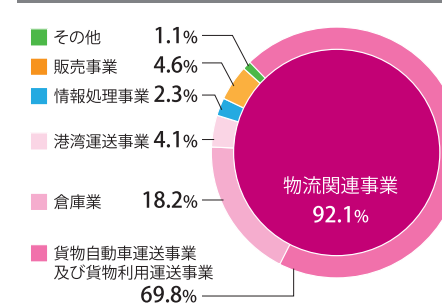


事業別連結営業収益

事業別	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比増減率 (%)
物流関連事業	(115,592)	(92.1)	(2.5)
貨物自動車運送事業 および貨物利用運送事業	87,579	69.8	2.0
倉庫業	22,844	18.2	6.3
港湾運送事業	5,168	4.1	△4.3
情報処理事業	(2,853)	(2.3)	(△1.5)
販売事業	(5,734)	(4.6)	(△13.4)
その他	(1,328)	(1.1)	(101.3)
合 計	125,509	100	2.1

(注) その他欄には、自動車修理業、旅行業、ダイレクトメール業、その他事業の各収入を含めて表示しています。

事業別連結営業収益構成比



トナミホールディングスグループ

認可主要路線 提供会社路線

京神倉庫
神戸流通加工支店



トナミ運輸
加古川支店、流通センター



トナミ運輸
南大阪支店、流通センター



トナミ運輸
大阪中央支店、流通センター



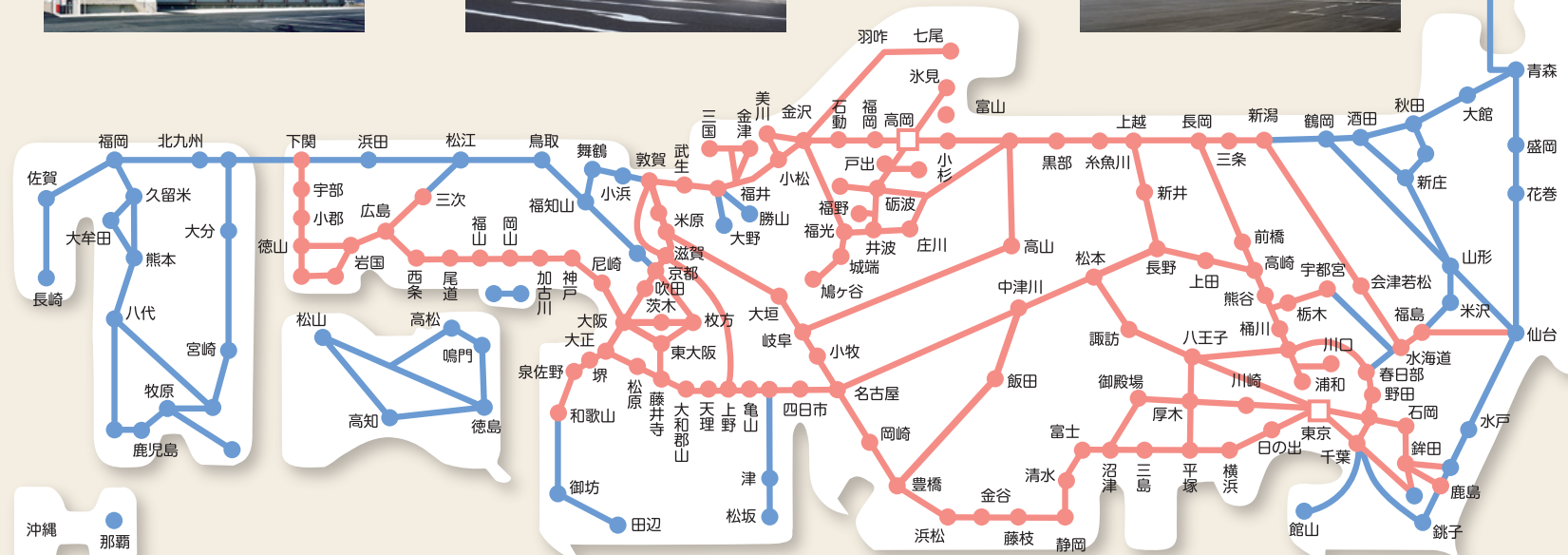
トナミ運輸中国
岡山支店、流通センター



トナミ運輸
富山支店、流通センター



トナミ運輸信越
新潟支店、流通センター



トナミ運輸
清須流通センター



トナミ運輸
富士支店



トナミ第一倉庫物流
大口第2営業所



阿南自動車
松本支店



北海道トナミ運輸
江別営業所



トナミ運輸
東京支店、江東流通センター



トナミ運輸
久喜支店、流通センター



トナミ運輸
浦和支店、流通センター



トナミ運輸
相模支店、流通センター



トナミ運輸
川崎支店、流通センター



特別積合せ貨物運送事業

日本国内外に広がる物流ネットワークを駆使して、価値ある速さを実現します

本州に点在する流通センターと日本国内外に広がる物流ネットワークを駆使し、物流拠点の点と線を効率的に結びます。高速道路網を使った大量輸送から多頻度小口配送までお客様のニーズに迅速に対応します。

トナミ特急便

ユーザビリティに徹したサービスでスピーディーに正確に、大切な荷物を運びます。



ビジネス特急便

重要なビジネス書類や会議資料、荷物を確実に配送！付加価値の高いサービスを提供します。



トナミチャーター便

国内拠点を連携する物流情報ネットワークで効率的な貸切便を提供します。



JITBOX チャーター便

BOX単位のチャーター便で集荷・納品流通在庫削減を強力にサポートします。



引越事業

人の笑顔、家族の幸福を全国どこへでも運びます

大がかりなオフィスの移転から小さなお引越しまで、全国どこへでもお客様の「新生活」を丁寧に運びます。どんなお引越しまでもお客様の立場にたって、移転計画から梱包・輸送までトータルにサポートします。

オフィスの引越

オフィスや店舗、工場をまるごとお引越。業務に支障なく、移転業務が完了します。



ミニ引越

進学、就学、単身赴任のお引越はおまかせください。新生活のスタートを真心込めてバックアップします。



住まいの引越

荷造りから輸送まで、丁寧・確実に、家族の大切な思い出・幸福を運びます。



その他のサービス

会場の設営、機密機器の運搬、重量物の運搬、商品の陳列、仕分作業なども行います。協力会社と連携により、海外へのお引越も受け付けています。



航空事業

陸・海・空に広がる国内・国際輸送ネットワークで確実に配送します

経済やビジネスのグローバル化に合わせて世界各国へ荷物を配送する機会も珍しくなくなっている今日、当社グループでは関連会社や現地代理店との提携に

より地球規模のネットワークを張り巡らせています。国外へも国内と同様に安心・確実・スピーディーな配達を実現しています。

トナミ航空便

航空機とトラック輸送のコンビネーションで物流シーンのシナジー効果を発揮します。

日本を代表するエアラインと連携し、各地へテイクオフ。スピードを要する検体輸送や生鮮品輸送などを空のネットワークとトラックによる陸上輸送のシナジー効果で国内当日配達も可能です。航空便でビジネスシーンに新たな付加価値を与えます。



国際事業

国際物流から国内保管・配送まで、トナミのロジスティクスサポートでお客様の物流全体最適化をご提案します

当社グループの国際事業では、免許を得ている保税地域以外の貨物についても輸出許可を受けることが可能となるAEO制度の認定通関業者として国内全域の海上貨物の輸出手続きや、国内・海外のフォワーダーとの連携と当社グループの保管機能、輸送ネットワークを駆使した効率的な国際複合一貫輸送サービスを提供しています。

さらに、タイ・中国に現地法人を設置し、これらをアジアにおける重要な事業拠点と位置付け、さらなる物流サービスの向上に取り組んでいます。



輸出トラック船積み風景



認定通関業者認定書

海外現地法人の紹介

○トナミタイランド

タイのマハポン社は、レムチャバン港に位置し、海上コンテナ、輸出入貨物の輸送はもちろん、1万坪の敷地を活用してコンテナ保管事業にも積極的に取り組んでいます。マハポン社は早くよりクロスボーダーライセンスを取得し、タイの周辺国への越境輸送や長尺・重量貨物輸送を得意としています。

H&R社はバンコクに位置し、通関・フォワーディング機能を有するトラック輸送会社です。バンコクおよびその

周辺での公共工事や大型プロジェクトに関わる建設資材の取り扱いを主な業務としており、タイのインフラ整備に貢献しています。



マハポンスタッフ



H&Rスタッフ

○托納美大連

中国で事業展開を行っている托納美物流（大連）では、中国国内での陸運免許を取得しており、自社トラックを保有し、大連と上海を主要拠点として、実運送業務を行っております。また、日中間の国際輸送を行うだけでなく、日本での倉庫運営のノウハウを活かし、中国国内のお客様の物流施設の庫内運営業務も行っております。

各拠点では現地女性スタッフも積極的に採用しており、トナミグループの物流品質で拡大する中国市場に挑戦し続けます。



大連スタッフ

3PL（サードパーティロジスティクス）事業

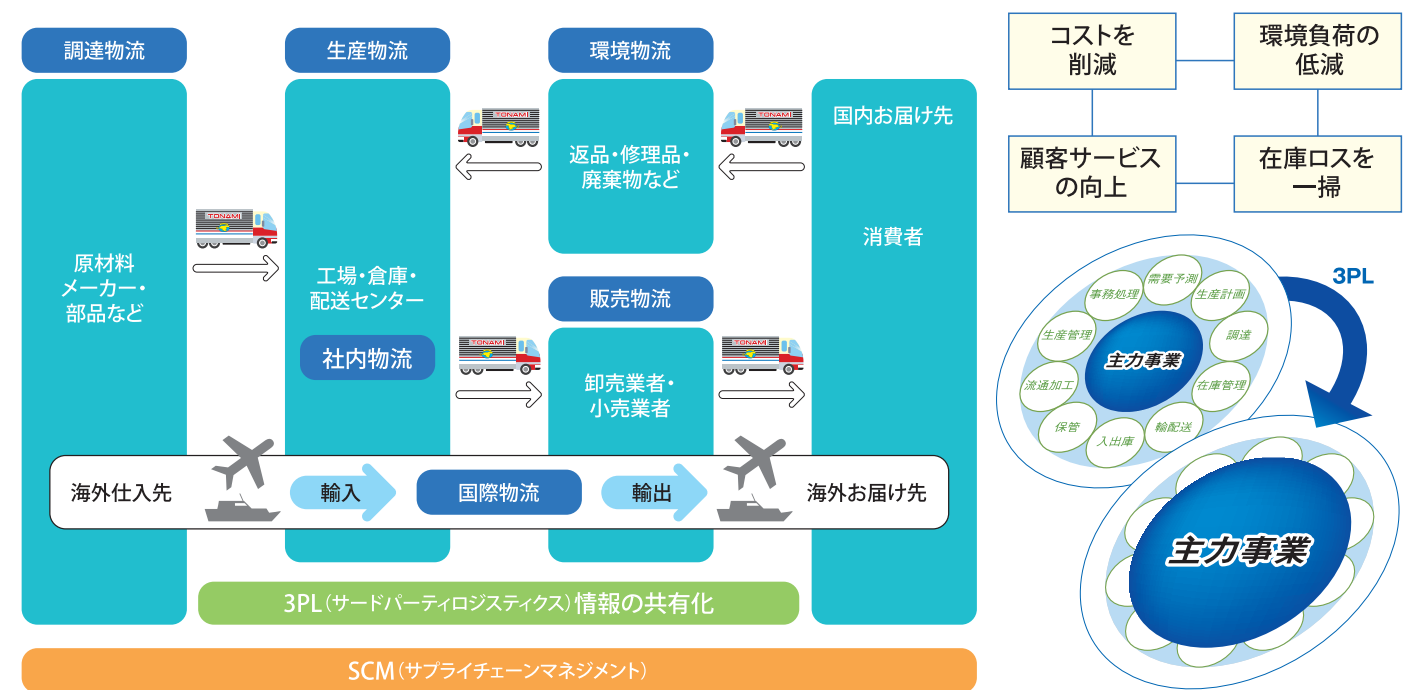
お客様の物流機能の効率化や高度化をサポートするアウトソーシングサービスです

お客様の物流機能の効率化や高度化を目的とした包括的なアウトソーシングサービスです。輸送・保管など基本的な機能のほか、情報システムを活用した受発注・在庫管理・仕分け・梱包など関連する業務を提供しています。

アセット型はもとより、自社保有の資産にとらわれないノンアセット提案も行っています。社会全体が環境に対す

る関心が高まる中、省エネ設備・技術を導入した物流施設を増やし、環境負荷を低減する取り組みを進めています。

近年、薬事法の改正により、需要が高まった医薬品関係の物量増に対応するため、2012年12月より、富山流通センターで「医薬品製造業」「卸売販売業」の許可を取得し、医薬品の扱いを開始しています。



お客様に最適な物流環境を提案するトナミのトータルマネジメント

コンサルティング機能

お客様の物流の現場を調査、分析し、最適な物流環境をご提案します。

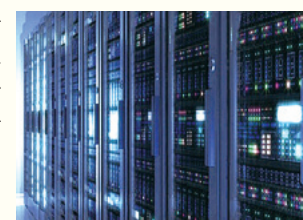
豊富な実績とノウハウを持つコンサルタントが、物量、立地状況、輸送ルートなどを調査、分析し、最適な物流環境をご提案します。



情報システム機能

お客様のニーズに合わせて、最適なシステムをご提供します。

物流に関するあらゆるノウハウをシステム化し、ITを活用することにより、物流に関わる全ての機能をコントロールし、最適なシステムを構築します。



業務運営機能

入出庫や保管の業務などを、最適に運営します。

多種多様な物流情報システムを組み合わせ、物流業務の効率化をサポートしています。物流現場のオペレーションも当社の経験豊富な技術スタッフが行います。



物流ネットワーク機能

国内外のネットワークを駆使し、物流の最適化を図ります。

国内に展開する流通センターと、国内外に広がる物流ネットワークを駆使し、お客様のニーズに迅速に対応できる最適な物流ネットワークをご提供します。



ロジスティクスサポート事業

24時間365日、お客様の「目」と「耳」になり、物流を監視・管理し高品質な配送を提供します

ロジスティクスサポート事業とは、「お客様の24時間365日の物流ニーズ」に対応するために、既存の全国物流ネットワークとコンピューターシステムを融合させた新しい物流サービスです。インターネット環境を利用したマルチベンダー型物流管理システムにより、お客様と物流

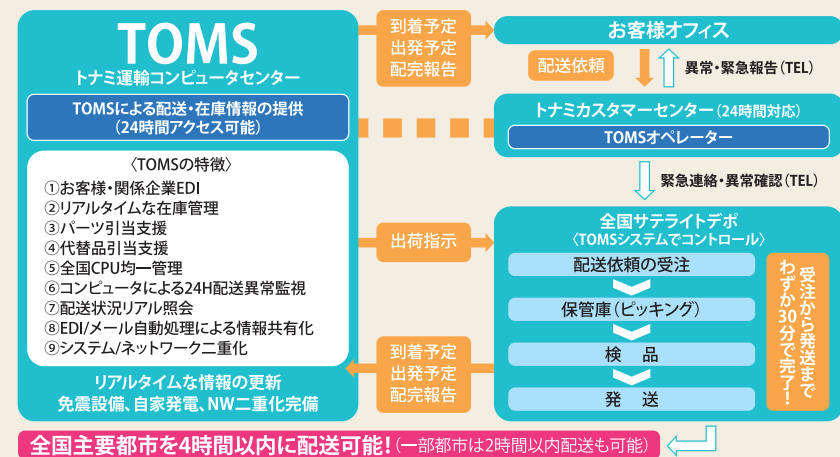
業者による配送状況や在庫状況をリアルタイムで共有化を可能にし、それぞれの顧客ニーズにマッチした物流システムの構築、サービスの提供により物流の最適化をはかります。

● 緊急配送システム概要

事業内容

- 1 全国に配置した専用拠点とコンピューターシステムにより、24時間365日対応の配送が実現可能です。
- 2 専用システムによりお客様がリアルタイムに必要な物流情報を取得、確認できます。
- 3 配送工程・入出庫工程などすべての工程に対するレポート機能が充実しています。
- 4 リアルタイムでのデータ更新、ならびに照会が可能です。

サテライトデポを利用した緊急配送システムがお客様の商品を迅速にお届けいたします！



通運事業

地球環境にやさしいコンテナ輸送でCO₂を削減します

地球温暖化防止への取り組みは、全世界の緊急重要課題となっています。

当社グループは鉄道の大量高速性とトラックの機動性をドッキングさせたJRコンテナ輸送のモーダルシフト

を推進しており、トラック輸送の削減による環境負荷低減と同時に、交通事故防止や長距離運行等の効率化につなげています。



モーダルシフトの具体的な取り組みの紹介

トンナミ運輸は、第一貨物（株）、久留米運送（株）と共同して、良質なサービス提供と運行効率化を目指し、2012年4月に合併会社となるジャパン・トランス・ライン（株）を立ち上げ、幹線輸送の一部の共同化を進めてきました。

2016年11月4日には、国土交通省より、「支店における貨物の混載、合併会社を通じた効率的な手配、着地からの効率的な運送など、3社の協力により実現した輸送

形態は、改正物流効率化法が目指す効率的な輸送に合致した括目すべき案件である」と評価をいただき、「モーダルシフト最優良事業者賞（大賞）」を受賞しました。



IT事業

人とモノの流れを見守るのもトナミの仕事です

スーパーマーケットやコンビニエンスストアに並ぶ食材、生活用品から書店で販売されている本まで、「物流」は今ある私たちの豊かな暮らしと深く関わっています。現代では、スムーズな物流を実現する上で、ITによるネットワーク管理が欠かせません。トンナミ運輸は、業界に先駆けて物流のIT化に取り組むなど、長年培ってきた確かなITで、物流ネットワークを管理しています。トンナミ運輸のITを担うコンピューターセンターでは、大切な情報資産を守るために、さまざまな事態を想定した危機管理対策を徹底し、万全のセキュリティ体制を確保しています。

また、3PL事業においては、業種ごとの物流体系に応じた最適なシステムを構築し、幅広い分野で当社グループのITが活かされています。



TOPICS / メインフレームから「オープン基幹システム」へ移行

(1) オープン化の背景と目的

■ トナミ運輸の情報システム事業部は、1972年以来、45年有余にわたり物流システムの運営を担ってきました。

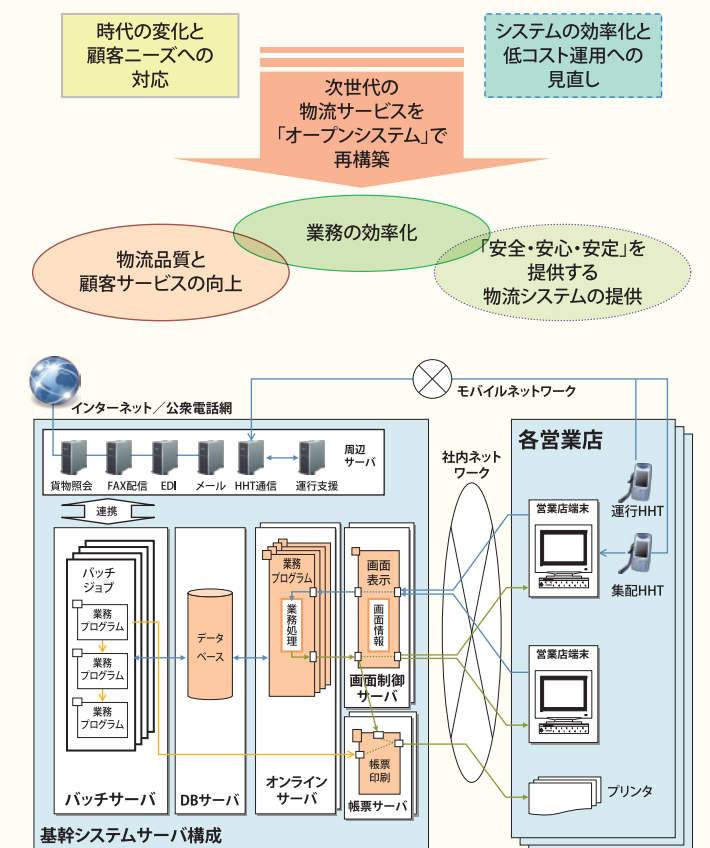
■ 当社の物流サービスをICT機能として支えている基幹システムは、メインフレームによる業界初のオンラインシステムを先駆けて稼働させ、長きにわたり技術進歩に伴った機能拡充をはかり運用してきましたが、メインフレームによる基幹システムは、コスト面・機能面の双方で限界を迎え、早急にオープン系システムへの移行が不可欠となっていました。

(2) 「オープン基幹システム」への移行プロジェクトの推進

■ 本プロジェクトを推進する過程で最大の課題は、メインフレーム側とオープン系システム側のコミュニケーションをいかに円滑に行うかであり、移行プロセスにおいて、通常想定される課題に加え、基幹システムや連携する周辺システムに起因する固有の課題も発生しましたが、メインフレーム経験者であり、かつオープン系システムをある程度経験している社員やメインベンダーに支援をいただき、プロジェクトマネジメントを推進し、その結果、2017年1月1日をもって、基幹業務システムをオープン系サーバーシステムに移行しました。

(3) 期待効果

■ 物流ニーズの高度化・多様化に対応したシステム再構築により、機動的・戦略的な市場競争力強化による事業成長をはかり、企業の付加価値向上と生産性拡大による働き方改革につとめます。



TOPICS / ロジスティクスソリューションフェアに初出展

KSR（ケーエスアール）は2017年8月29日～30日に、東京ビッグサイトで開催された「ロジスティクスソリューションフェア2017」に出展しました。

ブースでは、当社グループ内で利用中、または利用予定の、運輸業まるごとシステム「Ktrn21」と物流倉庫管理システム（WMS）「Klog21」を出展し、製品の特長や導入メリットを紹介。ご来場いただいた数社様から導入検討のお話を頂戴することができ、特に「Ktrn21」は、本展示会内でも他社にはないパッケージシステムということで、高い評価を得ることができました。

展示会で得た情報をもとに、業績向上に結びつけ、次年度以降も積極的に出展していきたいと考えています。



車両整備事業

信頼の絆を育む、トナミ独自の安心車検です

当社グループとして、野田・新潟・砺波・金沢・福井・名古屋・滋賀の7カ所に車両整備拠点を置き、国公認整備工場として信頼できる点検整備を行っています。確かな

整備・技術がトナミの車両と日々の運行をサポートし、お客様への安心を支えています。トラックや商用車だけでなく、マイカーの車検点検整備もお受けしています。



物品販売事業

お客様のニーズに応じて幅広いサービスと商品をご提供します

当社グループでは、通信販売および店舗販売の双方にて各種商品の販売を展開しています。

トナミ運輸物品販売事業部では、ショッピングサイト「t-sanchoku.jp」にて全国各地の旬の味覚、話題の商品、ふるさとの温もりを伝える名産品を取り揃えています。

インターネットを通じたオーダーで、産地・製造元から全国各地へ配達します。

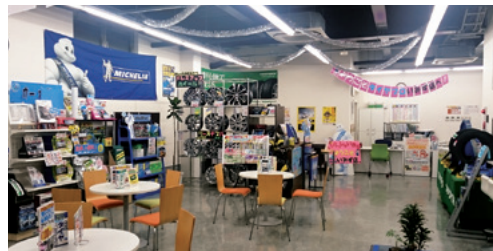
<http://www.tonami.co.jp/services/sales/>



東洋ゴム北陸販売では、お客様のカーライフをプロの技術でサポートするタイヤショップ「タイヤプロ」を富山県内5店舗で展開しています。

軽自動車から特殊なサイズのタイヤ、大型車両、工事車両、特殊車両などにも幅広く対応可能な設備を整えています。

日常のタイヤ点検から緊急時の出張技術作業まで、お客様に安心・安全をお届けする身近なプロショップです。



トナミ商事では、お客様の日常生活の安心・安全から企業のリスクヘッジまで、万に備えるための手段としての保険や、時代のニーズを捉えた付加価値の高いサービスと商品をご提供しています。

また、ビジネス出張から団体旅行まで、快適で安全な旅行をご案内するために、幅広い知識とノウハウを活かして目的に応じた旅行プランをご提供します。



環境関連事業

地球と人にやさしい、循環型社会を目指してさまざまな活動を推進しています

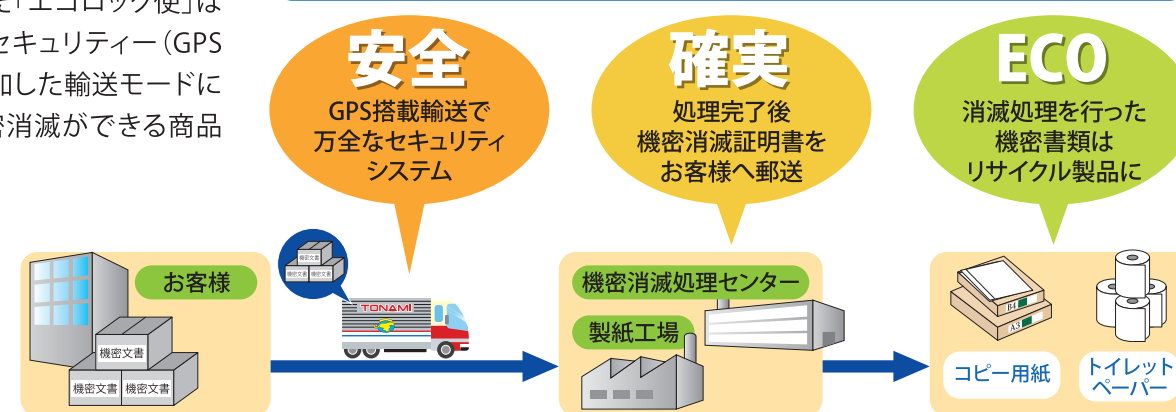
限りある資源を大切に、廃棄物の発生をおさえ、資源を循環的に利用する「循環型社会」を目指す取り組みは、現在企業の業種や規模を問わず求められている課題

です。この課題に当社グループは物流で応え、リサイクルと循環型社会の形成に貢献しています。

エコロックシステム

エコロックシステムを発展的にリニューアルした「エコロック便」は1個口からでもセキュリティ（GPS機能搭載）を付加した輸送モードにより、回収と機密消滅ができる商品です。

オフィスで不要になった重要書類を、安全・確実に回収・消滅いたします。



家電リサイクル

廃家電製品の収集運搬・集積場運営。電機店などから排出される廃家電製品（エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機）と家電メーカー様の廃家電製品・法定集積場の運営など、リサイクルが義務付けられている廃家電製品の回収・運搬業務に当たっています。



容器包装リサイクル

廃プラスチックの再資源化を推進、経済産業省のエコタウン事業に共同参加しているトナミでは、再生ポリ袋やベンチシートなどの原料となる廃プラスチック容器の再資源化を提案し、各家庭や企業から市町村自治体へ排出される同容器の収集・運搬業務に当たっています。

産業廃棄物の収集運搬

○環境関連法に対応した物流
環境の保全への対応は、地球規模で求められています。社会的規範や企業倫理（モラル）を守り、環境関連法への対応は企業経営の観点から不可欠です。
当社グループは、環境関連法を遵守し、環境省広域認定制度のコンサルティングから運用に関して最適な物流をご提案します。

TOPICS アルハイテック（株）

2017 NEW 環境展に水素発生装置『エ小僧』を出展

東京ビッグサイトで開催された『2017 NEW 環境展』に出展し、アルミ付廃棄物を利用した資源・エネルギーの回収システムについてのパネル展示と水素発生装置『エ小僧』を展示しました。

『エ小僧』とは、廃アルミニウムから水素を発生させ、燃料電池自動車が約170kmを走行できる量に当たる約1.3kgの水素を24時間で製造する小型装置です。

実際に水素を発生させ、燃料電池を用いた発電デモンストレーションを行い、普段は処分されているアルミ付廃棄物からエネルギー回収や水素を発生させることができるという世界初の技術に、多くの方々から称賛が寄せられました。



ミライイノベーション北陸で特別賞を受賞

ビジネスコンテスト「ミライイノベーション北陸」に参加、『エ小僧』を紹介したところ、その独創性や希求性の高さ、さらに、地域産業や社会課題のソリューションとして優れた革新的ビジネスアイデアに認められ、特別賞を受賞しました。



地域社会との コミュニケーション

トナミホールディングスグループは、福祉施設への支援活動や次世代育成など、さまざまな地域活動に参加し、社会に貢献しています。

福祉支援活動

一般財団法人トナミホールディングス松寿会は、1994年3月にトナミ運輸（現トナミホールディングス）の創立50周年記念事業として、社会福祉の増進をはかり、もって豊かで住みよい社会の発展に寄与することを目的に、設立された団体です。

2014年4月1日、富山県内に限定されていた事業活動を全国で、かつ、より自由に行えるように財団法人から一般財団法人へ移行し、同時にトナミ松寿会からトナミホールディングス松寿会へ名称変更しました。

2017年11月30日には、富山県の社会福祉法人 秀愛会 多機能事業所あゆみの郷様、特定非営利活動法人 わくわく小矢部様、特定非営利活動法人 川の音様、石川県の社会福祉法人 礎会様の計4団体に福祉車両を贈呈しました。

さらに、災害義援金寄付事業として富山県共同募金会を通じて、「台風18号大分県災害義援金」ならびに「平成29年7月5日から大雨災害義援金（福岡県）」へ寄付しました。

車両
寄贈台数

88台

災害
義援金件数

4件



福祉車両・助成金贈呈式



綿貫理事長から車両キーの贈呈



福祉車両の取り扱い説明



贈呈車両

募金型自動販売機の導入

トナミ運輸では、提携のベンダー企業に協力を依頼し、募金型自動販売機を導入しました。

地球温暖化対策が求められている中、わずかでもCO₂削減に貢献したいと考え、「緑の募金」に寄付できる自動販売機の導入を決めました。

収益金の一部は地方緑化推進委員会を通じて公益社団法人国土緑化推進機構に寄付され、全国の緑化推進活動費用に充てられます。

今後はこの活動を当社グループ各社に広め、環境に優しい活動への取り組みを推進していきたいと考えています。



募金型自動販売機と
バドミントン部員



富山マラソン2017に協賛

トナミ運輸では、2017年10月29日に開催された、「富山マラソン2017」にブロンズパートナーとして協賛しました。

当日はあいにくの天気でしたが、約13,000人のランナーが参加しました。

この大会は、多くの県内企業に認知された県民参加型のフルマラソン大会で、50社を超える企業が協賛しています。当社は地域活性化につながる活動を進めており、第1回大会から協賛パートナーの一員として、支援・協力をしています。

当日はスタート地点での参加者の手荷物の積み込みや、ゴール地点での荷物の引き渡しなど、大会をスムーズに運営するため、ボランティアスタッフと協力して行いました。

2018年大会でも引き続き盛り上げてまいります。



参加者の手荷物積み込み



富山マラソン2017スタート地点

密輸撲滅キャンペーン活動への参加

トナミ国際物流ではCSR活動（企業の社会的責任）の一環として、地域環境保全のため、横浜税関および通関士部会において密輸撲滅キャンペーン活動を実施しています。

横浜税関および通関士部会において、横浜税関の最寄り駅2駅で密輸撲滅キャンペーン活動として朝8時より駅に立ち、密輸撲滅キャンペーン活動を行っています。

2017年5月25日には、佐々木健一部長代理が、横浜税関管轄である仙台の多賀城駅にて密輸撲滅キャンペーン活動に参加をしました。

今後も密輸撲滅キャンペーン活動を通じ、社会に貢献し続けてまいります。

富山マラソン2017で
使用したトラックの台数

45台

派遣したスタッフ

147名



多賀城駅（宮城県）で行われた密輸撲滅キャンペーン活動



インターンシップ

トナミ運輸

当社では2017年9月28日に横浜国立大学経済学部の学生16名の訪問を受けました。当日は、富山支店・富山流通センター・富山航空支店・国際富山支店の各現場事業所を紹介しました。

その後、バドミントン部の練習風景も見学していただきました。

学生たちは物流の現場を初めて見るとのこと、現場事業所の見学では熱心にメモを取り、説明を

した各支店長・センター長へさまざまな質問をしていました。

また、バドミントン部の練習見学では、これから選手を応援していきたいとの嬉しい言葉をいただきました。

産業観光への社会的関心が高まるなかで、当社として今後も学生のみならず、こういった機会を設けていきたいと考えています。



富山流通センター見学



バドミントン部見学

また、藤枝営業所では、社会貢献の取り組みの一環として平成29年10月2日から5日間特別養護支援学校の職場実習を実施し、静岡県立藤枝特別支援学校焼津分校の生徒1名を受け入れました。

当日は、荷物の仕分けや事務処理など実際の職務

を体験していただき、その姿は当社社員にとっても大変よい刺激となりました。

今後もこの活動を継続していき、障がい者の方々の社会進出をサポートしていける身近な存在でありたいと思っています。

トナミタイランド

海外現地法人であるトナミタイランドにおいては、在タイ日系企業の通訳を目指している公立ブラパー大学・人文社会学部・日本語学科の生徒達の訪問を受けました。在タイ日系企業への就職活動を控えた人たちの目的は、同学科の先輩が働く当社を訪ねて、日本の会社組織、仕事の進め方、求められる通訳像についての理解を深めることでした。仕事の内容から日本人駐在員のプライベートまで、多岐にわたる楽しい質疑応答が展開されました。

タイ人と日本人は、それぞれの国の歴史、育った環境と教育の違いから、仕事に対する考え方も違い

ます。タイの地で事業所を構え、物流を通じてサービスを提供している当社は、タイ人社員の考え方を受け入れながらも、さらに日本的な業務品質や「おもてなしの心」を理解してもらうため、日々努力しています。



公立ブラパー大学のみなさん

物流講義を実施

トナミ運輸では、社会貢献の一環として、次世代を担う高校生や大学生に向けて物流事業の成り立ちや業界の説明、自社のアピールも併せて行い、今後の経済の要でもある物流人材の教育の一助となるべく活動しています。

三枝保弘常務取締役を講師として派遣し、2016年10月25日に富山大学、2017年2月6日に高岡商業高等学校、2017年9月25日には法政大学で講義を実施しました。

講義を終えての 学生の感想（抜粋）

- 物流業界の厳しさを知ることができ、環境改善について深く考えさせられた。
- 法律を遵守し、企業努力のうえで現在のサービスを提供していただけていると感じた。
- 商品が手元に届くのが当たり前だと思っていたが、目に見えないところでさまざまなデータ処理をされていると感じた。



法政大学での講義風景

地域清掃活動

当社グループでは、地域環境保全のため、社会の一員として地域の清掃活動に積極的に参加しています。今後も地域清掃活動を通じ、社会に貢献し、

多くの方々から認められる会社となるよう、努力してまいります。

会社名	活動内容
トナミ運輸	周辺道路清掃活動
	高岡市アダプトプログラムへ参加
	熊谷工業団地ゴミゼロ運動へ参加
	「トラックの日清掃活動」へ参加
トナミ運輸信越	道の駅「いが」清掃活動へ参加
福井トナミ運輸	【さわやか運動】へ参加
福井トナミ運輸	周辺道路清掃活動・雑草刈り
	大津貨物運送事業協同組合清掃活動へ参加
	矢放町町内社会奉仕活動へ参加

会社名	活動内容
阿南自動車	諏訪湖アダプトプログラムへ参加
	周辺道路清掃活動・雑草刈り
北関東トナミ運輸	周辺道路清掃活動・雑草刈り
	白岡工業団地環境美化運動へ参加
京神倉庫	周辺道路清掃活動・雑草刈り
	神戸流通団地クリーンキャンペーン参加
トナミ商事	周辺道路清掃活動
中央冷蔵	広島県冷蔵倉庫協会主催の地域清掃活動へ参加



高岡市アダプトプログラム



周辺道路側溝清掃



周辺道路雑草刈り



スポーツ支援活動

バドミントン部成績

トナミ運輸男子バドミントンチームは、2016年度国内の団体戦(全日本実業団大会・国民体育大会・S/Jリーグ)全てに優勝を収め、国内No.1チームに成長しました。

2017年度は、全日本実業団大会は決勝戦で惜しくも負けましたが、国民体育大会・S/Jリーグ2017は連覇を果たしました。個人戦では、2017年度のNo.1プレーヤーを決める第71回全日本総合選手権大会においてTONAMI旋風を巻き起こし、男子シングルス1位2位3位で表彰台を独占。女子シングルス・男子

ダブルス・混合ダブルス種目で各2位、その他多くの選手が上位進出を果たし、過去最高の日本代表選手が選出されました。

その勢いを海外にも向けて活躍しています。2017年8月の第23回世界選手権3位(銅メダル)、オーストラリア・中国・オーストラリア・US・カナダの各オープン大会で優勝を収め、その他多くのオープン大会で上位入賞を果たしています。男女とも東京オリンピックでのメダル獲得を目標に、さらに精進を重ねていきます。

バドミントン部試合結果2017			
開催日	大会名	結果	
4/6～9	フィンランドオープン2017	権藤・渡邊ペア	準優勝
4/18～23	中国マスターズ2017	大堀選手	優勝
5/1～6	タイインターナショナルチャレンジ2017	武下選手、仁平選手	準優勝
5/20・21	第46回北信越実業団選手権大会	団体	優勝(27年連続)
5/26～31	日本ランキングサーキット大会2017	仁平選手	優勝
		武下選手、大堀選手、小林・下農ペア	3位
6/20～25	オーストラリアオープン2017	園田・嘉村ペア	優勝
7/5～9	第67回全日本実業団選手権大会	団体	準優勝
7/11～16	カナダオープン2017	常山選手	優勝
7/19～25	USオープン2017	大堀選手	優勝
8/17～29	第23回世界バドミントン選手権大会	園田・嘉村ペア	銅メダル
9/1～6	第60回全日本社会人選手権大会	武下選手、仁平選手	3位
9/12～17	韓国オープンスーパーシリーズ2017	園田・嘉村ペア、保木・小林ペア	3位
9/19～24	ダイハツ・ヨネックスジャパンオープン2017	保木・廣田(再春館製薬所)ペア	準優勝
10/6～9	国民体育大会	団体	優勝
10/24～29	フランスオープン2017	西本選手	準優勝
		武下選手	優勝
11/27～12/3	第71回全日本総合選手権大会	西本選手、大堀選手、保木・小林ペア 小林・志田(再春館製薬所)ペア	準優勝
		常山選手、園田・嘉村ペア	3位
12/18～23	2017ヨネックス/K&Dグラフィックス インターナショナルチャレンジ	仁平選手	優勝
11/4～2018/2/4	S/Jリーグ2017	団体	優勝(2連覇)

TOPICS

S/Jリーグ2連覇

バドミントン部は、2017年11月4日から2018年2月4日までに全国各地で開催されたS/Jリーグ2017大会において、2016年に引き続き優勝を収め2連覇を達成しました。

4カ月の長い期間で開催するリーグ戦は、コンディション調整などが難しく、日本代表の海外遠征もある中で、選手全員が準備し、チームを盛上げ一丸となって戦い抜いた大会となりました。

また、全国各地で当社チームを応援して下さった皆さまの声援が選手の力となりました。心より御礼感謝申し上げます。今後は、2020年の東京オリンピックに向けてさらなるレベルアップを目指し、チーム一丸となって邁進していく所存です。

今後とも、応援よろしくお願い申し上げます。



講習会開催

国内各地から依頼されるバドミントン講習会等にも選手を派遣し、地域貢献活動にも積極的に取り組んでいます。ジュニア選手を対象にバドミントン講習会を行い、スポーツの素晴らしさを共有し、2020年に東京で開催されるオリンピックに希望と夢をともに描き始めています。

講習会開催実績		
開催日	開催地	派遣選手
2016/4/16	石川県かほく市	監督・選手5名・マネージャー
2016/4/23	新潟県黒埼町	監督・選手4名
2016/6/11	和歌山県	選手1名
2016/6/11	新潟県糸魚川市	監督・選手6名・マネージャー
2017/3/4	富山県砺波市	監督・選手5名・マネージャー
2017/3/4・5	岡山県倉敷市	監督・選手5名
2017/4/8	石川県かほく市	監督・選手6名・マネージャー
2017/4/29	新潟県黒埼町	監督・選手3名・マネージャー
2017/10/14	富山県小矢部市	監督・コーチ・選手4名・マネージャー



石川県かほく市講習会



新潟県黒埼町講習会



新潟県糸魚川市講習会



富山県砺波市バドミントン競技技術講習会



岡山県強化練習会



富山県小矢部市石動中学校講習会

環境マネジメント

私たちは、安全で確実・迅速な輸送サービスをお客様に提供し、ご満足いただくことが第一の使命であると考えます。同時に私たちを取り巻く環境問題についても、私たちにふさわしい責任を果たすことを目指します。

環境方針

トナミ運輸は、環境活動を推進するための環境マネジメントに取り組んでいます。次の環境方針を定め、さまざまな活動に目標を持ち、結果を見直し、継続的改善に向けて、体制強化に努めています。

地球環境を守る事は、あらゆる生命の生存に関わる最重要テーマであると認識し、「輸送を通じ社会に寄与し、地球環境の保全に努める」を基本理念として、以下の方針に基づいて取り組みます。

- 1 輸送サービスを提供することによって生じる環境汚染に対して、次の事を守ります。
- ①環境に優しい車の導入を図ります。
- ②エコドライブの実践に取り組みます。
- ③物流の効率化を通じて、地球環境に優しい物流システムを構築します。
- ④リサイクルシステムを構築し、循環型社会づくりに貢献します。
- ⑤環境に優しい商品の開発、提供を推進します。
- ⑥省資源、省エネルギーに継続的に取り組み、日々、改善を図ります。
- 2 環境に関する国・地方自治体等の法規制及び当社が同意するその他の要求事項を遵守し、環境保全に努めます。
- 3 環境目的及び環境目標を具体的に定め、定期的にレビューを実施し、環境マネジメントシステムの継続的な改善を致します。
- 4 社内環境教育、啓発活動を通して全従業員に本方針を周知すると共に、一般にも公開し、さらに、地域社会への環境保全活動に積極的に参加します。

環境負荷軽減への取り組み

当社グループは、「Do Eco!」をスローガンに社員一人ひとりが日常、気軽にできる5つの取り組みを設定しています。

- 5つの取り組み
- 1 省電力の推進
- 2 コピー用紙使用量の削減
- 3 ゴミ分別の徹底
- 4 安全な走行を心掛けよう
- 5 アイドリングストップの実施



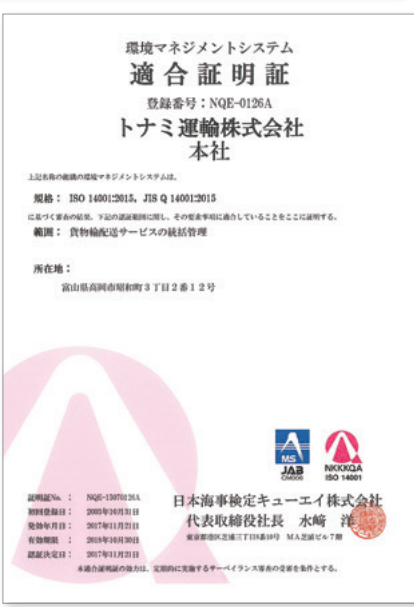
ISO14001 (環境マネジメントシステム) の活動

トナミ運輸は、2003年10月、本社において環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得しました。以来14年間、毎年の定期審査と3年ごとの更新審査において、基準に適合していることを認証されています。

今後も環境負荷軽減のための目標を設定し、1.Plan (計画) 2.Do (実行) 3.Check (点検) 4.Action (見直し) を繰り返すことによって、その達成に向けた取り組みを実践し、継続的改善をはかっていきます。

TOPICS / ISO14001 / 2015年版へ移行完了

当社は今まで、ISO14001 / 2004年版に準拠して環境管理マニュアルを作成し、そのマニュアルを基に、日本海事検定キューエイから認証を受けてきました。国際標準化機構から新たに2015年9月15日にISO14001 / 2015年版を発行されました。これに伴い、2017年7月1日に2015年版に対応した環境管理マニュアルを発行し、2017年10月30日に移行審査を実施しました。その結果、2017年11月21日に適合していることを認証されました。



2016年度取り組み実績 ◎:向上 ○:維持 ×:低下 ISO14001適合証明書

実践項目	取り組み実績	自己評価	ページ
環境にやさしいトラックの導入	低公害車24台を導入	◎	P22
物流の効率化と地球環境にやさしい物流システムの構築	鉄道によるコンテナ輸送継続実施	○	P9
	車両積載率 0.1%向上 (2015年度比)	◎	P21
エコドライブの実践	デジタル式運行記録計の活用	○	P29
	使用燃料削減、燃費維持	○	P21
リサイクルシステムの構築	機密文書リサイクル (エコロックシステム) 事業の取り組み	○	P12
環境にやさしい商品の開発・提供および調達	コピー用紙、トイレトペーパー、段ボールのリサイクル品購入	○	P24

2016年度省資源・省電力の取り組み実績

実践項目	2016年度目標		2016年度実績	自己評価
	目標	目標値		
電力使用量の削減 (トナミ運輸信越、トナミ運輸中国含)	2015年度比1%削減	22,468,853kWh	23,146,373kWh	×
コピー用紙使用量の削減 (トナミ運輸本社)	2015年度比1%削減	964,260枚	940,000枚	◎

グリーン経営認証の取得状況

当社グループの物流事業会社7社は、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団が運営しているグリーン経営認証制度において適合していることを認証されています。今後もグリーン経営推進マニュアルに基づきエコドライブや低公害車の導入などの取り組みを実施しながら、物流における環境保全の実効性向上につなげていきます。

グリーン経営認証取得会社一覧

- トナミ運輸 2事業所
- 福井トナミ運輸 3事業所
- 北陸トナミ運輸
- 関東トナミ運輸 5事業所
- 阿南自動車 7事業所
- 京神倉庫 2事業所
- 北海道トナミ運輸 5事業所



グリーン経営認証登録証

地球温暖化防止・大気汚染防止

CO₂などを中心とする温室効果ガスの増加は、地球温暖化に大きく影響します。低公害車の導入や、輸送の効率化、各種省エネ設備の導入など、温室効果ガス削減のための取り組みを積極的に進めています。

CO₂排出量の削減に向けて

トナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国は、エコドライブの実践や低公害車や省エネ設備の導入など環境負荷低減への取り組みを進めた結果、2016年度のCO₂総排出量は、102,802t-CO₂となりました。

また、エネルギー使用の合理化に関する法律(省エネ法)において特定貨物輸送事業者として、貨物輸送のために使用した燃料から発生するCO₂総排出量を2016年度までに2011年度比で5.2%削減することを目標にし、4つの項目に取り組んできました。

その結果2016年度のCO₂総排出量は82,700t-CO₂となり、2011年度の92,100t-CO₂と比較して約10%削減することができました。

2011～2016年度CO₂排出量(トナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国全事業所と全車両(リフト含む)対象) (単位:t-CO₂)

使用エネルギー	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2011年度比
軽油	91,936	89,516	89,139	85,785	84,459	85,130	92.6%
ガソリン	1,297	1,255	1,190	1,131	991	1,083	83.5%
A重油	274	235	235	247	263	248	90.5%
LPG(リフト)	745	813	847	762	729	788	105.8%
CNG	2,110	2,240	2,379	2,456	2,502	2,549	120.8%
LPG(湯沸)	456	448	395	360	324	299	65.6%
灯油	331	387	266	229	239	271	81.9%
都市ガス	68	52	40	38	39	34	50%
電力	9,461	12,191	13,719	13,128	12,323	12,399	131.1%
CO ₂ 総排出量	106,678	107,137	108,210	104,136	101,868	102,802	103.8%
そのうち輸送に伴うCO ₂ 総排出量	92,100	89,300	88,000	84,400	82,000	82,700	89.8%

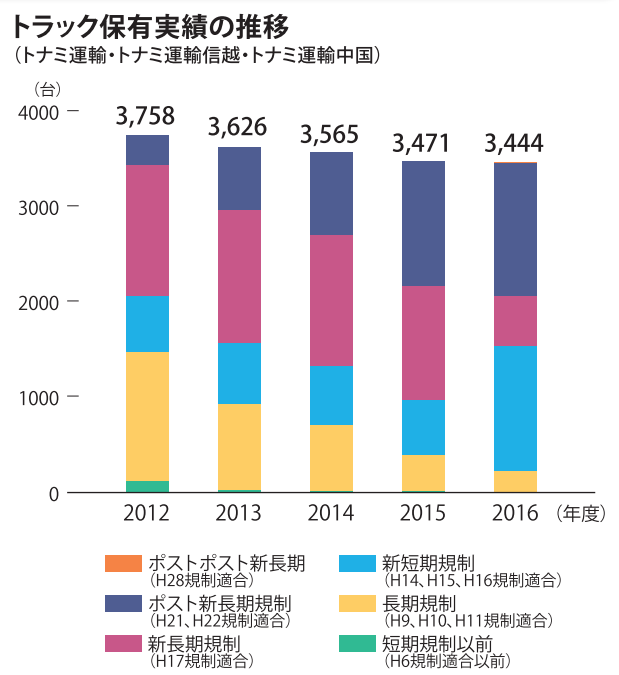
※温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧(2010.3改正)参照

2012～2016年度の取り組み(特定貨物輸送事業者として)

取り組み項目	期待効果	進捗状況(2016年度)
エコドライブの実践 全車両／燃費3%の向上	原単位3.0%向上 (2,244t-CO ₂ 削減)	デジタル式運行記録計の活用や エコドライブ教育等を継続的に実施中
輸配送コースの見直し 空車キロの削減(運行車1運行5km、集配車10km/月)	原単位1.0%向上 (742t-CO ₂ 削減)	車両の走行キロ削減等の効率化を推進中
輸送効率の改善 積載率1%の向上	原単位0.7%向上 (522t-CO ₂ 削減)	車両積載率96.1%(2015年度比0.1%向上)
モーダルシフトの実施 長距離運行系統 (東京～広島)の鉄道コンテナ化 2便/日	原単位0.5%向上 (500t-CO ₂ 削減)	鉄道によるコンテナ輸送継続実施中

環境にやさしいトラックの導入

トナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国は、輸送に関わるNOx、PMなどの大気汚染物質削減をはかるため、環境に配慮したトラックを導入しています。2016年度は新たに235台を導入し、そのうち天然ガス自動車(CNG車)は24台導入しました。



エコドライブの実践

エコドライブとは、一言で言うと「環境に配慮した経済運転」のことです。やさしい発進を心がけたり、無駄なアイドリングを止める等を行って燃料の節約に努め、地球温暖化に大きな影響を与えるCO₂の排出量を減らす運転を実践しています。

エコドライブ推進の取り組み

エコドライブは、「地球環境にやさしい」「燃料費の節約」「安全運転につながる」「車両にやさしい」と、一石四鳥であることをドライバーの一人ひとりが認識し、その結果は、社内表彰制度で、エコドライブ成績優秀者を表彰しています。

エコドライブ教育

トナミ運輸は、ドライバー研修や新入社員教育時に、省燃費運転、自動車の適切な点検・整備の仕方、省燃費運転の注意事項について周知徹底をはかっています。また、社会活動の要請を受け、『エコドライブと交通安全』について講師を派遣し、地域社会のエコドライブへの取り組みに協力しています。



ドライバーが持つ安全手帳には、燃料節約のポイント等、省燃費運転について掲載されています

駐車時はアイドリングストップ

アイドリングストップは、自動車の燃料消費量を抑え、CO₂を削減します。当社グループでは、アイドリングストップワイヤー(キー抜きロープ)をすべての集配ドライバーに携帯させ、短時間車を離れる際も、必ずエンジンをストップするようにしています。



「トナミの森」CO₂削減・里山再生プロジェクト

トナミ運輸労働組合では、組合結成70周年を迎えたことを機に、将来にわたって森づくり活動に取り組み、CO₂削減による地球温暖化防止及び荒廃しつつある里山再生に貢献する活動を行っています。2016年には苗木250本（桜130本、栗60本、コナラ30本、クヌギ30本）を植えましたが、2017年7月22日には桜の苗木30本の補植と草刈り等を行いました。参加した70名は、炎天下の中、汗を流し一生懸命取り組みました。今後もこの活動を継続していき、里山再生に力を注いでいきます。



「トナミの森」CO₂削減・里山再生プロジェクト

参加者 コメント



組合結成70周年記念事業の1つとして、地域に根つき、CO₂削減や森林保全など未来につながる植樹活動に参加して2年目を迎えました。2年目を迎えた木々は、力強く成長しており、苗木の成長とともに地域の皆様との絆がさらに深まればと思います。今後も皆様に喜ばれ、後生に残せる活動を行っています。

トナミ運輸 泉佐野支店 紺谷 洋



各種省エネ設備の導入

太陽光発電

トナミ運輸は、久喜支店および富士支店に太陽光発電を導入しました。久喜支店の月間電気使用量は約46,500kWhですが、そのうち約900kWhを太陽光により賄っています。富士支店も同レベルの発電をしています。今後建設を予定している支店においても太陽光発電を積極的に導入する予定です。



富士支店の太陽光パネル

屋上緑化設備

トナミ運輸は、節電対策の1つとして、川崎支店の睡眠室棟に屋上緑化を採用しました。夏場は外からの熱流入を81%カットし、冬場は室内からの熱放出を45%カットできる点が特徴となっています。このためエアコンの使用量が減り、年間2,600kWhの節電と1.8t-CO₂排出量の削減をしています。



屋上緑化

省エネ照明の導入

当社グループでは、「エネルギー使用合理化支援事業者補助金」制度を利用し、2009年1月に浦和支店全館、2011年2月に大阪中央支店全館に省エネ設備（照明器具）を導入しました。

また、2014年度から全国19のトラックターミナル

および倉庫にLED照明を導入しました。

これらの省エネ設備の導入により、電気使用量で約1,000,000kWh／年（推計）の節電とCO₂排出量で410t-CO₂削減することができました。

今後も継続してLED照明の導入を行っています。

廃棄物削減への取り組み

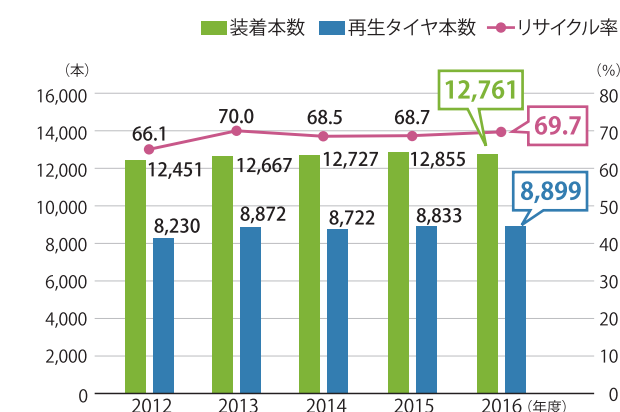
廃棄物削減に向けて従来の取り組みを見直し、継続的改善に努め、ゴミ減量化とリサイクルの推進を行っています。

使用済みタイヤのリサイクル

当社グループは、資源の有効利用をはかるため、使用済みタイヤはすべて再生タイヤメーカーに引き取ってもらっています。また、積極的に再生タイヤを使用しています。

使用済みタイヤのリサイクル実績の推移

（トナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国）



環境にやさしい商品の利用

当社グループは、環境への負荷が少ない商品の購入・利用を推進しています。

トイレットペーパー、段ボール、コピー用紙、事務用品は、古紙を原料とした再生製品を使用しています。



リサイクル
段ボール



リサイクル
トイレットペーパー

使用済コピー用紙・ラップ・ダンボールのリサイクル

当社グループでは、使用済コピー用紙は裏面利用の徹底をはかっており、機密文書については、各事業所に設置してあるエコポストへ入れる習慣を身に付けています。

エコポストに入っている「エコロック」というダンボールは、万全なセキュリティ体制のもと輸送され、消滅処理を行ったのちリサイクル製品へと生まれ変わります。

また、荷物の運搬や梱包に使用したラップやダンボール等を分別して収集し、特定の業者に依頼しリサイクルを推進しています。今後もさらなる省資源化を目指していきます。



人材育成と働きやすい職場づくりを目指して

人事制度、教育制度により、個々の人材を伸ばし、また、職場の安全確保、社員の「こころ」と「からだ」への配慮を通し、社員一人ひとりが活躍できる職場づくりを奨励しています。



メンター・メンティ制度

トナミ運輸は、新入社員が悩みを抱えて早期離職していくのを防止するため、話を聞いてくれる相談者としての先輩社員を設定し、メンタル面をサポートして定着率の向上をはかろうと、2017年4月からメンター制度を導入しました。

職場内の年の近い先輩社員がメンターとして新入社員（メンティ）に寄り添い、仕事やプライベートの悩みに耳を傾けたりしています。互いの信頼関係を深めていくことで、職場の活性化にもつながっていきます。企業の財産である社員が、信頼し合える仲間と、

より協力できる関係を築くことで、働きやすい職場環境作りを目指しています。

また、メンティへのサポートを行っていく中で、メンター自身も自己の成長をはかることができ、将来のリーダー育成につながっていくことを期待しています。



指導の様子

参加者 コメント

メンター



新入社員に接することで、自分が入社時に抱えた悩みや不安を思い出しました。新入社員にはそうした不安を払拭して、職場に新しい風を吹かせてもらえるように、日々、働きかけています。互いの信頼関係を深められることはもちろん、職場の良好な人間関係の構築や仕事にも良い影響が出てくると思います。

トナミ運輸 久喜支店 横山 幸彦

メンティ



入社し初めて数々の不安がありましたが、メンターとして先輩をご紹介いただき、心の支えとなりました。共に業務を行うことで自分ができる仕事も増えてゆき、何より信頼を寄せられる先輩がいるという安心感が、社会に属し仕事をするという未体験なことに対して前向きに考えさせてくれると感じます。

トナミ運輸 久喜支店 山田 祐希

女性社員スキルアップ研修

当社グループは、将来的な女性管理職を育成するための「女性社員スキルアップ研修」を実施しています。

研修は、各職場より選抜されたリーダー的資質を備えた女性社員が受講し、知識・能力にさらに磨きを掛け、女性特有の優しさや気遣いを発揮しつつ職場や職務の責任者に育てることを目的としてい

ます。2017年はこれまでに研修を受講した女性社員の中から5名の女性管理職が誕生しました。

研修を受講すると一皮むけた光り輝く女性社員が必ず一歩階段を登りはじめます。



研修風景

参加者 コメント



研修に参加し、男性の強みと女性の強みを理解し、今後の仕事への姿勢を考えることができました。参加者との討論などを通じ、自分に足りないものは何かを見つめ直す機会にもなりました。研修で得たものを生かせられるよう努めていきたいです。

トナミ運輸 名岐支店 和田 舞香

人材育成・研修制度

当社グループは、「企業は人なり」を教育理念に人材育成に努めています。階層別、職種別研修では挨拶、礼儀作法や知識・スキルの向上を目的に、社内講師のほか外部の専門講師を招き訓練を実施しています。外部セミナー、通信教育も積極的に取り入れ、教育効果を高めています。

また、新入社員を育成するメンター教育を実施し、若手社員の育成に力を入れています。



屋外での挨拶訓練



研修風景

「こころ」と「からだ」の健康づくり

トナミ運輸では、社員の健康を守るため、「こころ」と「からだ」の健康づくりに取り組んでいます。

「こころ」

「心の健康づくり表明」を行い、全事業所に掲示しました。全社員を対象に年1回ストレスチェックを実施し、医師による面接やカウンセラーによる電話相談を気軽に受けられる環境を整えています。

働き方改革の一環として、職場の集団分析結果を中央安全衛生対策審議会で協議し、職場環境の改善に活用しています。

「からだ」

健康診断実施後二次健診の100%受診を徹底しています。要精密検査と判定されたら必ず受診させるため、職場の上司が受診指示を行う体制づくりを整え、健診結果に基づいて、産業医による受診勧奨や保健師等による保健指導も実施しており、階層ごとに重症化予防の取り組みを行っています。



取締役人事部長
山口 伸一

「心の健康づくり表明」について

社員の心の健康は、家族との幸せな家庭生活や明るい職場づくりのためには重要な課題です。

ストレスチェック等の取り組みを推進することにより、メンタルヘルス不調者への対応や、職場のコミュニケーション活性化等、心の健康づくりに取り組んでいきます。

わが社のメンタルサポート

トナミ運輸株式会社

従業員の健康は、会社の資源である。

心の健康づくり表明

当社は、第12次労働災害防止計画が目指す「誰もが安心して健康に働くことができる社会」を目指します。また、第12次労働災害防止計画の重点施策と主な取り組みの中のメンタルヘルス不調予防のための職場改善手法を検討するとともに、ストレスチェックなどの取り組み等を推進していきます。当社における心の健康づくり活動は、下記の具体的な行動目標に基づき推進することを表明します。

取締役人事部長 山口 伸一

- 基本方針** 従業員の心の健康は、従業員とその家族の幸福な生活、活気のある職場のために重要な課題であることを認識し、メンタルヘルス不調者への対応だけでなく、職場のコミュニケーションの活性化など広い意味での心の健康づくりに取り組んでいきます。
- 目標**
1. 管理監督者を含む社員全員が心の健康問題について理解し、心の健康づくりにおけるそれぞれの役割を果たせるようにする。
 2. 円滑なコミュニケーションの推進により、活気ある職場づくりを行う。
 3. 管理監督者を含む従業員全員の職場環境による心の健康問題を発生させない。
- 基本的実施事項**
1. 個人のプライバシー保護の徹底
 2. 心の健康づくり体制の整備
 3. 従業員が相談しやすい相談窓口の開設と外部機関の活用
 4. 全従業員へのストレスチェックの実施
 5. 中央安全衛生対策審議会で心の健康問題の審議

- 外部相談機関**
- 外部資源：医療専門機関・外部相談カウンセラー
- 相談

心の健康づくり表明

『10WAVEスクール』の発行

当社グループは、毎月1日と15日を「教育の日」と定め、情報紙を月2回発行しています。知っているようで知らない一般常識、社会経済、業界の知識や社内情報を発信し、社員が気軽に読めるよう目を引く見出しにしています。事業所等で社員の知識やモラル向上のための教育ツールとして愛用されています。



ライフデザインセミナー

トナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国は、定年後の第2の人生を支援するため、定年2年前の方を対象に会社・労働組合・企業年金基金共催によるライフデザインセミナー（研修会）を開催しています。



年金制度の説明を受ける参加者

安全な社会づくりを目指して

トナミホールディングスグループの交通事故防止への取り組みは、事業の中だけでなく地域社会にまで展開し、安全な社会づくりに貢献していきたいと考えています。

輸送の安全に関する基本的な方針

トナミホールディングスグループは、輸送の安全に関する基本的な方針を設定しています。

- ① 当社の安全衛生は、従業員の生活と安全を守ることを基本とする
- ② 常に安全・確実・迅速なサービスを提供する
- ③ 交通事故のない社会を作り上げるための牽引車となるべき行動を取る
- ④ あらゆる機会を利用し、地域の安全推進企業として社会に信頼されるよう模範行動に徹する

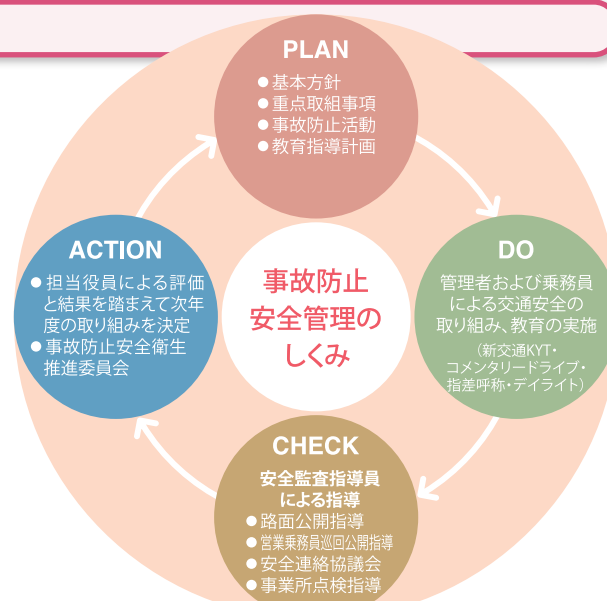
安全管理体制

当社グループの運送事業会社は、会社ごとに交通事故防止や労働災害防止などを目標として、事故防止安全衛生推進委員会組織を設置し、常に多様な課題に対して討議を行いながら、安全面・衛生面の向上に取り組んでいます。

また、交通安全の取り組みは、PDCAサイクルを回し、継続的な改善を実施することによって、次年度の取り組みにつなげています。

安全管理強化システム

事故防止の強化をはかるため、乗務員一人ひとりに3段階評価を実施し、結果に応じた指導を行う「安全管理強化システム」を推進しています。



- 1 社内規則の遵守状況点検
- 2 運転指導票の発行
- 3 指導教育

運転適性診断車「あんぜん号」

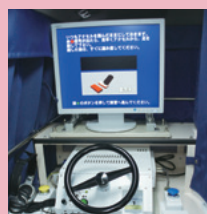


あんぜん号

営業用車両の管理については、日常的に法令を遵守することを基本に、ドライバーとしての適格性を確保・安全運行に努めることを責務として業務に取り組んでいます。

その一環として、あんぜん号の事業所巡回による運転適性診断指導を行っています。

今後とも、ドライバーの一層の安全適性の確保に努め、運送事業者としての社会的責任を担っていきます。また、地域の交通安全指導にも貢献していきます。



運転適性検査器

トナミホールディングスグループ安全会議

2013年から運送事業会社を対象にして、四半期ごとに「トナミホールディングスグループ安全会議」を年4回開催しています。

各社の交通事故防止取り組みの強化とグループ全体の安全水準の向上を目的とし、安全会議では、各社の事故防止対策と取り組み結果、運輸安全マネジメントの推進状況の確認、各分野の専門講師を招聘しての講演会実施等、グループ各社で情報を共有化して、トナミホールディングスグループの一員としての自覚と意識向上をはかっています。

近年、若年者や勤続年数の浅い乗務員による「交差点での知覚不全事故」が増加傾向にあるため、グループ各社の安全教育と指導強化、あんぜん号によるグループ各社の乗務員の運転適性診断等を実施し、「安全最優先の職場づくり」と「法令遵守」を徹底しています。

安心・安全な輸送を提供する「トナミブランド」を確立して、社会に信頼される企業を目指して取り組んでいます。

安全性優良事業所(Gマーク)

当社グループでは、公益社団法人全日本トラック協会が認定する、安全性優良事業所(Gマーク)の取得を推進しています。

Gマークを取得することにより、お客様に安心して当社グループを利用していただく基準となるとともに、トナミホールディングスグループ全体の安全性の向上に対する意識を高めるための環境整備を図るという目的があります。

今後はさらにこの取り組みを推進し、より高い安全性を追求していきます。



安全性優良事業所認定証



Gマーク
取得事業所

97

事業所



ハイウェイレディ



トナミ運輸は、富山県高速道路交通安全協議会の委託を受けて、当社従業員をハイウェイレディとして派遣し、高速道路を利用するドライバーなどの交通安全意識の高揚を目的に、富山県内のインターチェンジやサービスエリアで安全運転を呼びかけています。



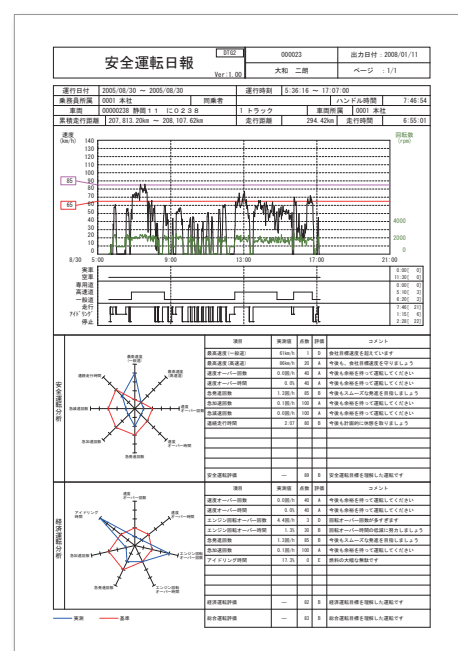
呉羽サービスエリアにて交通事故絶滅運動実施

デジタル式運行記録計の活用

当社グループは、デジタル式運行記録計*を導入し、車両に装着しています。

このシステムの導入により、危険運転や事故発生の記録はもちろん、安全運転の証明もできるようになり、交通事故防止だけでなく、模範運転について指導ができるようになりました。

*デジタル式運行記録計は、時間・距離・速度の3要素を含むすべてのデータを数値で記録をとり、画像での解析・表示ができます。



運転日誌

ドライブレコーダーの導入

当社グループでは、ドライブレコーダーの導入を推進しており、グループ全社で約2,500台以上の運行車や集配車に取り付けています。

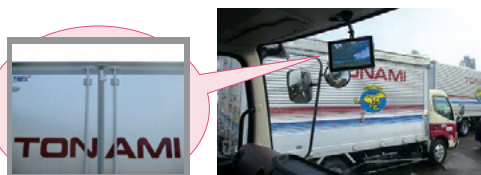
ドライブレコーダーは事故処理時だけでなく、管理者がドライバーの運転画像をチェックして安全運転指導を行ったり、危険予知トレーニングのルーツとしても活用し、交通事故防止のために役立てています。



バックカメラの導入

当社グループでは、主に集配車を中心にバックカメラの取り付けを推進しており、現在までに約1,500台以上のトラックに設置を完了しています。

バックカメラを設置することで、後方の安全を明確に確認することが可能となり、後方の追突事故を減少させることができました。



デジタル式運行記録計、ドライブレコーダーやバックカメラの導入により、ドライバーの安全運転をサポートし、さらなる安全な社会づくりに貢献していきます。

物流品質向上のための取り組み

トナミ運輸は、総合物流企業として社会に寄与し、常に安全、確実、迅速なサービスを提供し、顧客ニーズに対応しています。

物流サービスの提供に当たっては、効率化をはかり、さらにより高い品質を目指し、事業が絶えず成長を続けるため、品質方針に基づいて行動します。

“会社主導”の取り組みから“現場が主役”の取り組みへ社員一人ひとりが自ら考え、行動する生きた組織を目標とし、日々社員の意識向上のための取り組みを推進しています。

トナミ・クオリティ10

トナミ運輸では、物流品質の向上を目指して組織体制を確立し、独自のルール「トナミ・クオリティ10」を作成し、全事業所で展開しています。

品質方針

- 顧客の要求事項を満たし、信頼と満足を戴きます。
- 品質マネジメントシステムの有効性を継続的に改善します。
- 法令、規則、社会規範を遵守します。
- 組織の各部署で具体的な品質目標の設定をします。
- 品質目標の達成度を検証し、見直します。

トナミ・クオリティ10

1 業界初の「物流品質マイスター」が、全事業所のトナミ品質「標準化」への取り組み

- ・物流“安心”づくりの高いノウハウと経験をもつ店所長を、全事業所の品質の標準化と向上をはかることを目的に「物流品質マイスター」として認定する業界初の制度(2009年9月導入)
- ・マイスター達が全国の主管支店、店所のおもてなし品質の展開を担っています。



2 事業所の特性に合わせた月次PDCAシートを使い分け、全事業所で毎月、継続的改善

- ・全支店・営業所が毎月提出する商品事故防止の取り組みの計画と振り返り結果を、本社・主管支店・保険会社ですべてレビューし、管理の徹底をはかっています。
- ・個別に添削指導を行い、より効果的な取り組みを推進しています。



3 現場第一主義 —(社外の専門家を含む)多様なメンバーでの現場点検指導

- ・多層的に現場の改善をはかる仕組み
品質管理部:往診治療(訪問型点検)
業務改善部:入院治療(業務品質そのものの改善をはかる滞在型点検)
物流品質向上委員会:総合治療
- ・保険会社のスペシャリストの協力も得て、合同点検を実施しています。



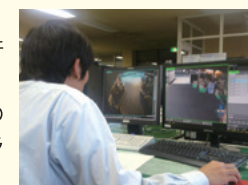
4 現場主体の品質づくり(新トナミQCチーム活動)

- ・新トナミQCを導入している支店・営業所では、4つの職種(内勤者・営業乗務員・運行乗務員・夜間業務員)ごとにチームをつくり、各チーム同士、連携しながら店所の品質づくりに取り組んでいます。自ら考え、行動する自発性に基づく本物の現場力が発揮されてきています。



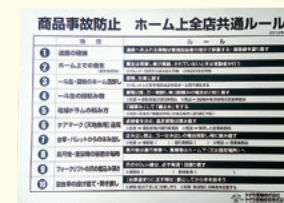
5 プラットホーム上に「24時間監視カメラ」を設置し、商品事故防止に活用・本社からも遠隔監視

- ・トラックからの積卸やプラットホームでの荷扱いの様子(特に深夜早朝)を常時モニタリング・録画し、社員の安全作業指導に役立てる独自の取り組みをしています。(全58店所中、45店所に設置済)
- ・最新のネットワークカメラへの移行も進めており、本社からの遠隔監視、指導にも活用しています。(上記のうち42店所はネットワークカメラ導入済)



6 「全店共通ルール10カ条(トナミ・ルール)」による作業品質の全事業所標準化

- ・商品事故対策のプロである保険会社の協力を得て、トナミの商品事故パターンを分析。
- ・人間工学に基づく最も効果的な対策を10の独自ルールに整理し、全事業所に浸透をはかっています。



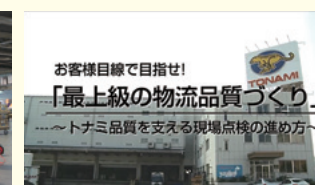
7 プラットホーム上の商品を守る「養生板」を全事業所に配備・活用徹底

- ・業界平均の3~6倍の数の養生板(フォークリフトや台車等の他物との接触による破損を防ぐ保護板)をトナミ独自の仕様で全支店・営業所に配備し、活用を徹底しています(全事業所で8,000枚以上)。



8 品質標準化(品質DVDシリーズによる社内研修)

- ・トナミ品質の標準化(バラツキのない品質づくり)をはかるため、保険会社の協力も得てトナミオリジナルの現場品質づくりのDVDを自主制作。社員教育に活用しています(マイスター編、行動心理学に基づくフォークリフト事故対策編等、6本制作)。



9 トナミ“一貫”品質の提供に向けた他社への働きかけ

- ・「異常時の連絡を」というお客様の声に応えるために、当社社員への指導はもちろんのこと、中継(輸送委託)商品の異常発生時の連絡も迅速確実に行うため、関係他社への働きかけにも力を入れています。



10 お客様へ「物流“安心”品質」(運送保険)をご提案・ご提供

- ・約款に基づく運送会社の責任の範囲を超える事故や災害でお客様の大切な商品が損害を被った場合でもお客様が一定の補償を受けられる安心をお届けするべく、運送保険を取り扱いお勧めしています。



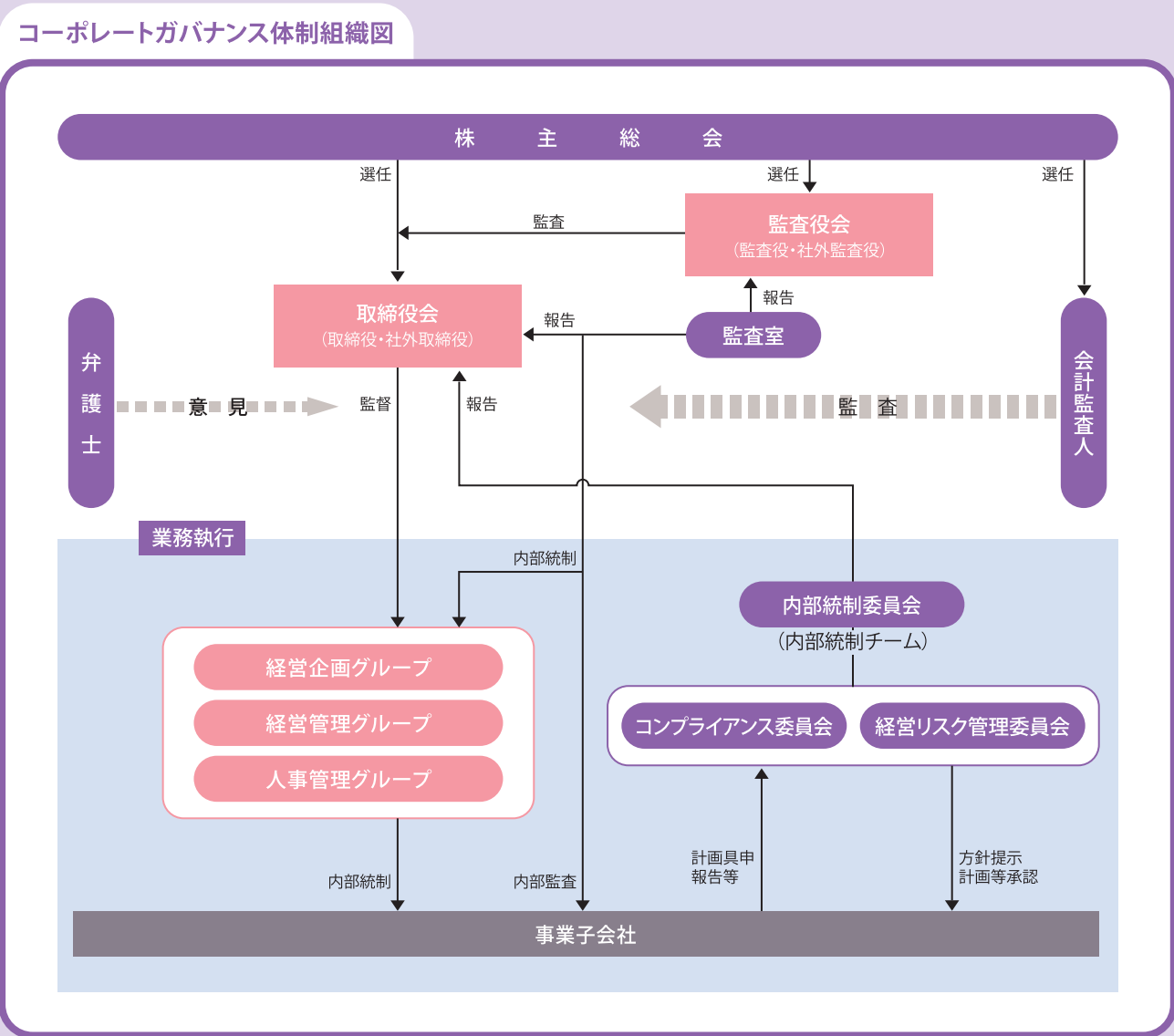
コーポレート ガバナンス体制

トナミホールディングスグループは、社会・ステークホルダーから信頼される企業としての体制を整備し、事業のさらなる価値創造を目指します。

コーポレートガバナンスの状況

当社の内部統制の基本方針については、2008年10月1日開催の取締役会で決議し、その基本方針に基づき内部統制委員会が中心となって、健全な内部

統制システムの構築をはかり、トナミホールディングスグループの企業価値向上にむけて取り組んでおります。



1 会社の機関の内容及び内部統制システム

当社は、経営方針及び経営戦略に関わる重要事項を担当する機関として、社外取締役2名を含む9名で構成する取締役会を設置しております。

取締役会は、取締役会規則に基づいて月1回これを開催することを原則とし、その他必要に応じて随時開催して、取締役会の意思疎通をはかるとともに相互に業務執行を監督し、必要に応じて外部の専門家を起用し、法令定款違反行為を未然に防止することといたしております。

また、内部統制構築の一環として、監査役制度を採用しており、常勤監査役2名、社外監査役2名の4名体制で構成し、監査役は取締役会及びその他重要会議への出席や意見の具申等で取締役の適法性について監査しております。

取締役の職務執行については、監査役会の定める監査の方針及び分担に従い、社外監査役を含め各監査役の監査対象となっております。

取締役が他の取締役の法令定款違反行為を発見した場合は、直ちに監査役及び取締役会に報告し是正をはかるとしており、内部監査部門として業務執行部門から独立した監査室を置いております。

2 内部統制システムの整備の状況

当社グループの内部統制システムの整備状況にあたっては、経営リスクマネジメントに関する基本方針を定め、事業子会社の運営に影響を及ぼすおそれのある様々なリスクへの適切な対応を行い、経営基盤の安定化をはかるとともに、万が一、経営リスクが発生した場合の影響を極小化し、当社グループの損失及び社会的損失をできる限り発生させないように取り組んでおります。

さらに、コンプライアンスの重要性を認識し、コンプライアンス委員会を設置し、「トナミグループ社員行動規範」に基づき、トナミホールディングスグループ事業子会社の役員社員に企業倫理と法令遵守を浸透させるため推進担当者を選任し、コンプライアンスに関わる教育説明会を実施しております。

また、企業活動において、あらかじめ違反行為が起り得る可能性を抽出し、未然防止をはかるよう推進状況を報告させ、違反行為が発生した場合は早期に解決し、再発防止を講ずるコンプライアンス体制を構築しております。

なお、一般株主との利益相反が生じるおそれのない独立役員2名を選任し、外部の視点での取締役会の監督機能の強化をはかるとしてしております。

さらに、コンプライアンス体制の基礎として「トナミグループ社員行動規範」を定め、意思決定機関として社長を委員長とする内部統制委員会を設置し、内部統制担当役員を中心とする内部統制システムの向上をはかっております。

コンプライアンスの統括組織としてコンプライアンス委員会を設置し、内部統制チーム（監査室内）が内部統制体制の維持・向上のための統括・運営・研修を実施しております。

事業子会社における業務の適正を確保するため、グループ事業子会社すべてに適用する行動指針として「トナミグループ社員行動規範」及び、「グループ運営規程」を定めるとともに、これを基礎として、グループ事業子会社で諸規程を定めております。なお、経営管理については、「グループ会社管理要領」により、承認・報告事項を定め、事業子会社経営の管理を行っております。

なお、取締役会が決定した基本方針に基づき、速やかな業務執行に努めており、経営に関する法令遵守事項等については、必要に応じて公認会計士や弁護士等の専門家から助言を受け参考としております。

そして、「グループ運営規程」を基礎として、グループ事業子会社各社で諸規程を定め、「グループ会社管理要領」により承認・報告事項を定め、事業子会社の経営管理を行うことにより、経営環境の変化に速やかに対応する体制を整え、経営の健全化に努めております。

また、業務執行が適切で効率よく行われているかについては、監査室による内部監査を実施し、監査役及び取締役会に報告を行っております。

反社会的勢力に対しては、毅然とした態度で臨み、一切の関係を持たないこととしております。また、不当要求等の介入に対しては、警察等の外部専門機関との緊密な提携のもと、関係部署が連携・協力して組織的に対応し、利益の供与は絶対行わないこととしております。



法および 社会倫理の遵守

トナミホールディングスグループは、コンプライアンス体制と
リスク管理体制を構築し、誠実かつ透明性の高い経営を目指しています。

コンプライアンス体制の整備

当社グループは、遵法および倫理の観点から、役員社員が心がけるべき基本事項を、「トナミホールディングスグループ社員行動規範」として定めています。2015年6月には法務部を設置し、法的リスクへの適切かつ機動的な対応を強化しました。

コーポレートガバナンス体制の一環としてコンプライアンス委員会、その傘下に事業子会社のコンプライアンス部会を設置しています。

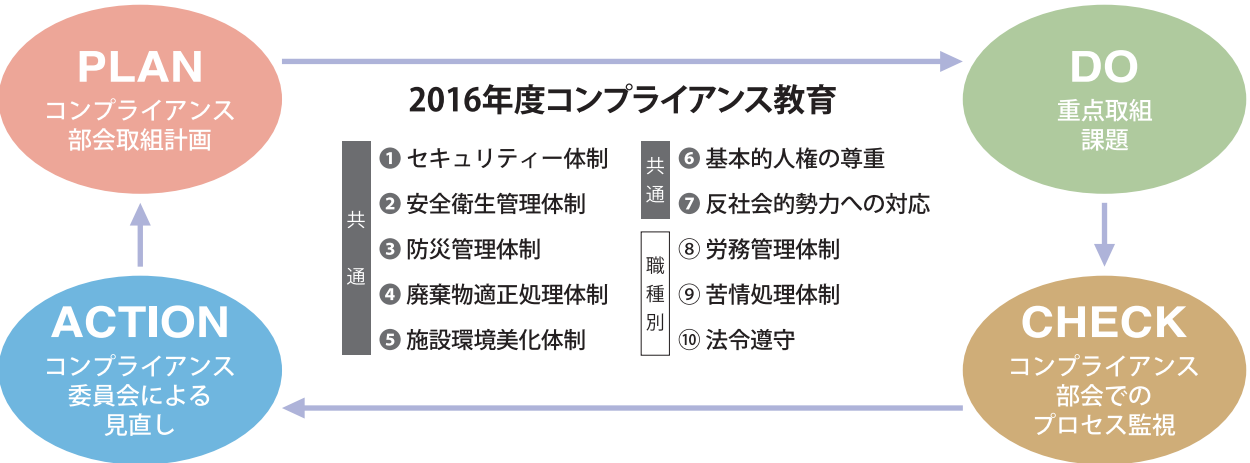
トナミホールディングスグループ社員行動規範

- ① お客様に、常に安全・確実・迅速な物流サービスを提供します。
- ② 地球環境を守るために、物流サービスのあらゆる段階において環境負荷低減に努めます。
- ③ 輸送活動にあたって、法・社会倫理・社内規程を遵守します。
- ④ 公正な企業活動を行います。
- ⑤ 整理・整頓を心がけ、清潔を保って快適な作業環境を維持します。
- ⑥ 基本的人権を尊重し、良好な職場環境を維持します。
- ⑦ 企業情報・得意先情報・個人情報の保護に細心の注意を払います。
- ⑧ 得意先の価値創造に役立つコンセプトを構想、提案します。
- ⑨ コンピューター・ネットワークの不正な利用・業務目的以外の使用をしません。

コンプライアンス教育の重点取り組み課題

2016年度のコンプライアンス教育は、重点取り組み課題として当社グループ各社の業務に密接に関係する法令や事象を基にして、全職種共通テーマと職種別テーマの10項目について、コンプライアンス委員会の部会ごとに教育を実施致しました。

その教育の実施状況について、部会ごとに結果報告を求め、コンプライアンス委員会で評価を行い、マネジメントレビューを実施しました。今後とも定期的にPDCAサイクルを回すことによって継続的にコンプライアンス意識の向上をはかります。



リスク管理体制の整備

当社グループは、経営リスクマネジメント方針を定め、社長を最高責任者とする経営リスク管理委員会を設置し、事業運営に影響を及ぼすさまざまなリスクに対応するために「トナミホールディングスグループ経営リスクマネジメント管理規程」を制定しています。

経営リスクマネジメント方針

トナミホールディングスグループは、自然災害、事故などの人為的災害、及び経営上の様々なリスクに的確に対処し、経営目標の達成を阻害するすべての要因を可能な限り防止し、排除することにより、社会的責任を果たす。

経営リスクマネジメント行動指針

- ① 経営リスクマネジメントに関する計画を策定し、実施する。
- ② 当社の役員及び従業員等及び関係者の安全・健康を確保する。
- ③ 当社の資産の保全を図る。
- ④ 経営リスクが顕在化した場合には、責任ある行動をとる。
- ⑤ 被害が発生した場合には、速やかな回復を図る。
- ⑥ 経営リスクに関連する社会的要請を当社の経営リスクマネジメントシステムに反映する。

個人情報保護の取り組み

当社グループは、2005年4月の個人情報保護法の施行に伴い、個人情報の適切な利用と保護のための実践遵守基準を明確にした「個人情報保護コンプライアンスプログラム」を制定しています。

お客様や取引先の個人情報の利用目的の適正利用を原則として、細心の注意をもって、責任ある取り扱いに努めています。

また、2016年1月からのマイナンバー制度の本格的な運用開始に向けて、当社グループは、「特定個人情報の適正な取扱いに関する方針」および「特定個人情報

ISMS認証取得

当社グループは、お客様の個人情報や情報資産の管理強化、サービスの安全性・信頼性の一層の向上をはかるため、情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) 認証取得を奨励しています。

トナミ運輸は、2007年3月および2012年6月、KSRは2009年8月にISMSの認証を取得しました。



ISO/IEC 27001:2013 / JIS Q 27001:2014認証取得済
上記は、インターネットプロバイダ業務およびデータセンター運用サービスのものです。

公益通報者保護法への対応

当社は、グループ会社も含めた「トナミホールディングスグループ社内通報規程」を制定しています。監査室を通報・相談窓口として、①通報者の保護、②グループ内に潜むリスクの早期発見、③不正通報の濫用の抑止などに努めています。

等取扱規定」を作成し、マイナンバーをはじめとする特定個人情報の管理について、必要かつ適切な安全管理措置を行う体制を確立しました。

今後も特定個人情報を取り扱う事務従事者への教育を実施し、特定個人情報が適切に管理運用されるよう徹底していきます。

トナミホールディングスは、プライバシーポリシーをホームページ上で公開しています。
<http://www.tonamiholdings.co.jp/privacy/>



トナミホールディングス株式会社

〒933-8788 富山県高岡市昭和町3-2-12
TEL (0766) 32-1073 FAX (0766) 32-1077
URL <http://www.tonamiholdings.co.jp/>
(本報告書はホームページでもご覧いただくことができます。)



本冊子は再生紙を使用しています。

2018年3月発行